

kitchenhouse

システムキッチン取扱説明書

目次

初回ご使用前の前に

浄水器の登録

オープンの空焼き

毎日のお手入れ・使い方

扉・ワークトップ・キャビネット

ワークトップ

棚板

引出し

ガラス扉

家電収納

把手

シンク

水栓

食器洗い機

調理機器

エバルトアクセサリー

ノンスリップマット

その他のメンテナンス

感震ドアロックの解除方法

木製棚板の移動方法

プッシュラッチの調整方法

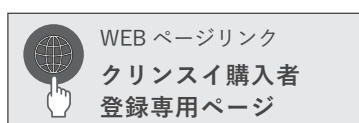
初回ご使用の前に

浄水器の登録

浄水器は定期的なカートリッジ交換が必要です。
交換時期に案内が届くように登録を行ってください

●クリンスイの水栓を購入されたお客様の登録方法

付属の専用ハガキ「交換時期お知らせカード」に必要事項を記入し投函いただくか「交換時期お知らせカード」に記載の二次元バーコードを読み込んでいただき登録専用 WEB ページにて登録を行ってください。
登録専用 WEB ページは、以下 WEB ページリンクからもご覧いただけます。



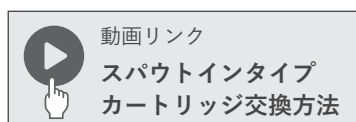
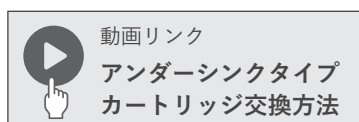
●その他の水栓を購入されたお客様の登録方法

メイスイ、KVK の水栓を購入されたお客様は製品に同梱されている登録ハガキより登録を行ってください。

その他のメーカー水栓・浄水器を購入された場合は登録はございませんので交換時期になりましたらメーカーよりカートリッジを購入ください。

●浄水器カートリッジ交換方法

浄水器カートリッジの交換方法は、以下動画リンクよりご覧いただけます。



オープンの空焼き

機種によっては新品のオープンにはプレスオイルや洗剤が付着しているものがあります。
そのまま使用すると、臭いが食品についてしまいますので、初めてお使いになるときは「空焼き」をしてください。
メーカー・機種によって方法が異なりますので、詳しくはオープンの取扱い説明書を読んでください。
※機種によっては空焼きの必要がないものもあります。

毎日のお手入れ・使い方

扉・ワークトップ・キャビネット

お手入れは台所用中性洗剤かアルカリ電解水で

クレンザー・漂白剤・水垢用洗剤は、素材を傷めます。薄めた台所用中性洗剤でお手入れ後、洗剤が残らないようにふき取ってください。中性洗剤で落ちない汚れはアルカリ電解水でお手入れ後、洗剤が残らないようにふき取ってください。



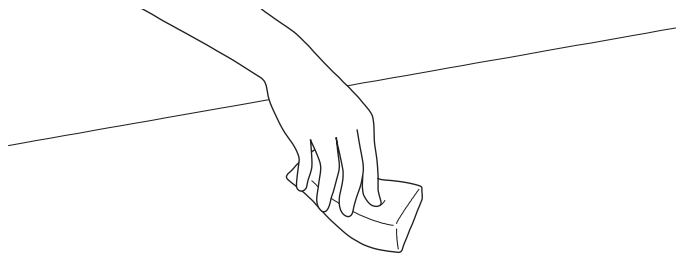
動画リンク
エバルトワークトップ
取扱説明



動画リンク
フェニックスワークトップ
取扱説明

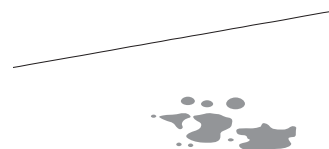
メラミンスポンジを使用しないでください

メラミンスポンジを使ったお手入れは、素材表面に光沢を出してしまいます。風合いを損ないますので使わないでください。



濡れたままにしないでください

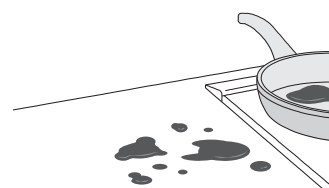
予期せぬ不具合を起こす可能性があります。キッチンをお使いになった後は柔らかい布で水気をふき取って、乾いた清潔な状態を保ってください。



濡れたまま
放置しないでください

汚れを放置しないでください

醤油、トマトソースなどの汚れを放置すると、汚れが沈着してシミの原因になります。柔らかい布で汚れを拭き取って、清潔な状態を保ってください。



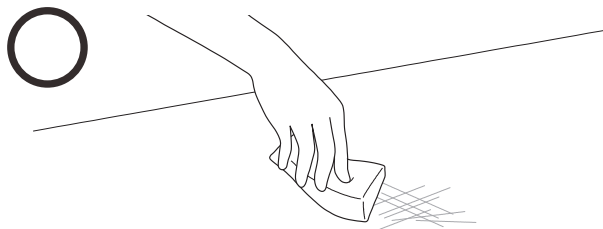
トマトソース・醤油などを
そのままにしないでください

毎日のお手入れ・使い方

扉・ワークトップ・キャビネット

フェニックスは熱を加えることでキズを修復できます

摩擦熱によりキズを修復できるため、細かな擦りキズは市販のメラミンスポンジでこすってください。ただし、普段のお手入れには使わないでください。頻繁に使うと光沢が出て風合いを損ないます。



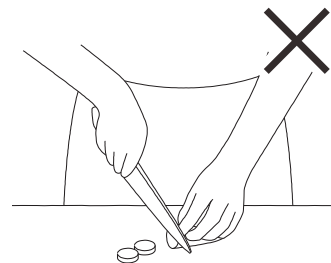
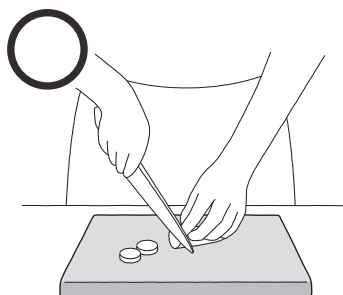
動画リンク

フェニックスワークトップ
修復方法

ワークトップ

包丁を使うときは必ずまな板を

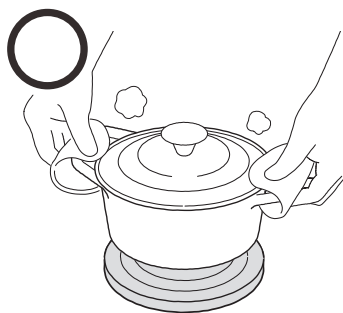
包丁とワークトップの両方を傷めてしまいますので、必ずまな板をお使いください。



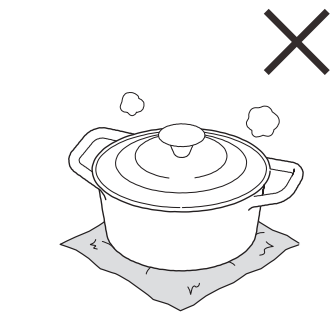
直に包丁を
使わないでください

鍋敷きをお使いください

ワークトップが変色してしまいますので、熱いフライパンや鍋は必ず鍋敷きの上においてください。ぬれた布巾を鍋敷き代わりに使うのも厳禁です。



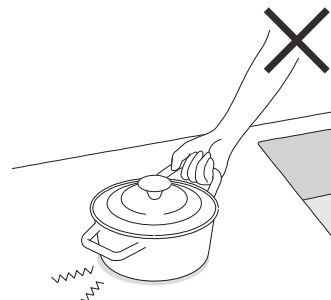
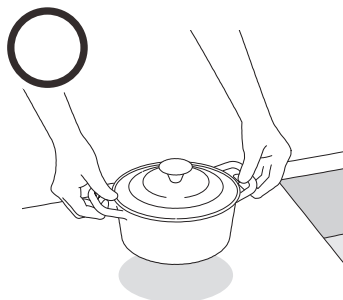
直置きはしないでください



ぬれた布巾も
使わないでください

モノをひきずらないでください

モノをひきずるとワークトップに目立つ線キズがつきますので、持ち上げながら移動させてください。



ひきずるとキズがつきます

毎日のお手入れ・使い方

引出し

耐荷重を超えないように
収納してください

引出しの耐荷重は右記イラストのおもりを入れ、8万回開閉しても性能が落ちない重さを表しています。耐荷重を超えて収納すると開閉性能が落ちる可能性がありますので、右記イラストの重量を超えないように収納してください。

※下記の収納は、想像以上の重量となりますのでご注意ください。

- ・液体の入ったペットボトルや瓶
- ・ホーロー鍋や鉄製鍋
- ・本や雑誌、重ねられた紙類

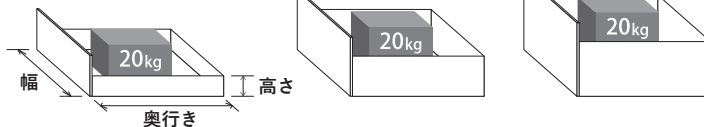


幅：300～600mm

高さ：90mm

高さ：177mm

高さ：241mm

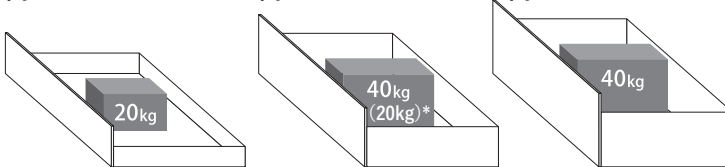


幅：601～1200mm

高さ：90mm

高さ：177mm

高さ：241mm

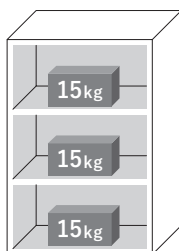


*奥行きが270/350mmの場合
は耐荷重20kg

棚板

耐荷重を超えないように
収納してください

耐荷重を超えて収納すると壊れる
可能性があります。右記イラスト
の重量を超えないように収納して
ください。

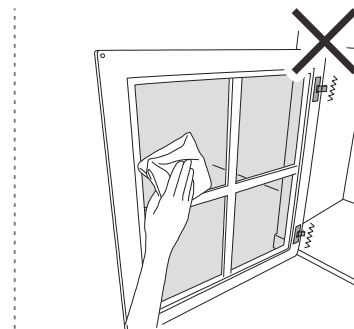
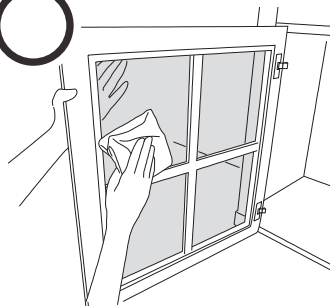


重さの目安：直径20cmのお皿50枚で約15kgとなります

ガラス扉

清掃時は
裏面をおさえてください

扉がガタつきやすくなりますので、
ガラス扉の清掃は裏面をおさえな
がら行ってください。



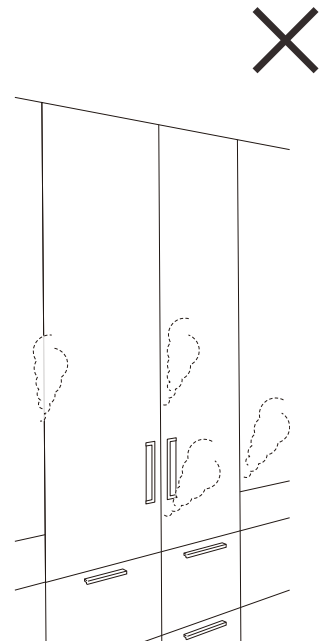
片手のみで
清掃しないでください

毎日のお手入れ・使い方

家電収納

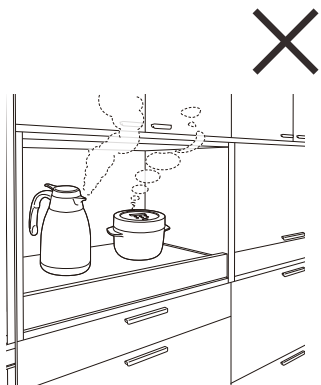
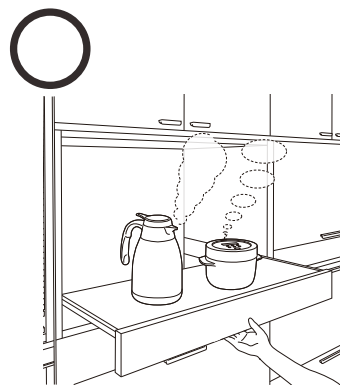
家電使用時は必ず扉を開け、
スライド棚を引き出して
使用してください

家電収納用キャビネットの扉を閉めたままで熱や蒸気の出る家電を使用すると、熱や蒸気が籠り、キャビネット内の家電の故障や、扉やキャビネットのひび割れ・変形・変色を引き起こします。また、扉を開けた状態でもスライド棚を引き出さずに熱や蒸気の出る家電を使用すると、同様の問題が生じます。尚、保温時はスライド棚を引き出す必要はありませんが、扉は必ず開けて使用してください。



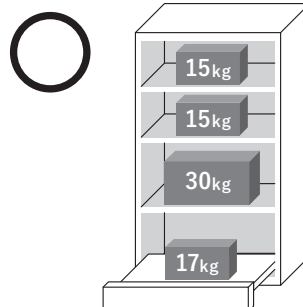
家電使用時は必ずスライド棚を
引き出して使用してください

スライド棚を引き出さずに熱や蒸気の出る家電を使用すると、キャビネットのひび割れ・変形・変色を引き起こします。保温時以外は必ずスライド棚を引き出して使用してください。



耐荷重を超えないように
収納してください

耐荷重を超えて収納するとスライド棚の開閉性能が落ちたり、壊れる可能性があります。
右記イラストの重量を超えないように収納してください。

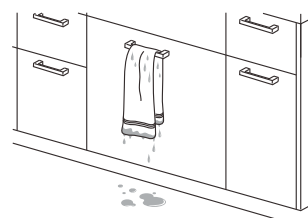
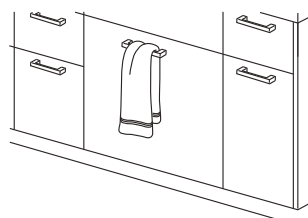


毎日のお手入れ・使い方

把手

把手に濡れた布巾を掛けないで
ください

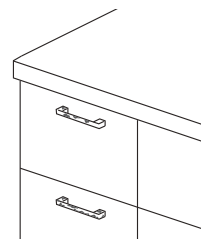
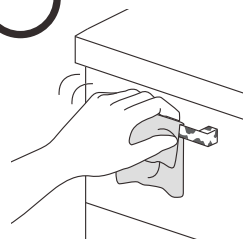
漂白後の濡れた布巾や、洗剤の染み込んだ布巾を把手に掛けると把手が変色します。また、濡れた布巾から出た水分が扉をつたい、扉を傷めます。布巾を把手に掛ける場合は、乾いた布巾のみに限定してください。



濡れた状態で
布巾を掛けないでください

汚れを放置しないでください

把手に付着した汚れや、洗剤などを放置すると把手が変色します。柔らかな布で汚れを拭き取って、清潔な状態を保ってください。



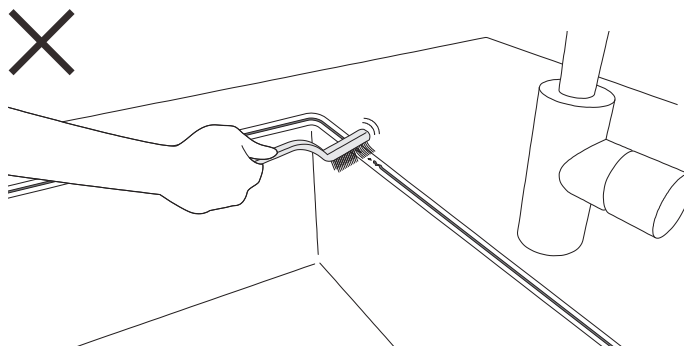
汚れを放置したままにすると
把手が変色します

毎日のお手入れ・使い方

シンク

ふちの黒い接着剤は少し欠けてもこすり取らないでください

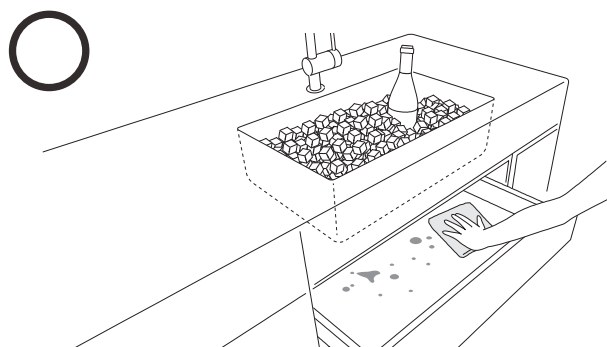
シンクのふちの接着剤は硬いものをぶつけると欠けることがありますが、使用上問題ありません。ワークトップが水膨れしたり、剥がれたりしてしまうため、気にしてブラシなどでこすり取らないでください。



接着剤をこすり取らないでください

シンクに氷を置いたときはお手入れが必要です

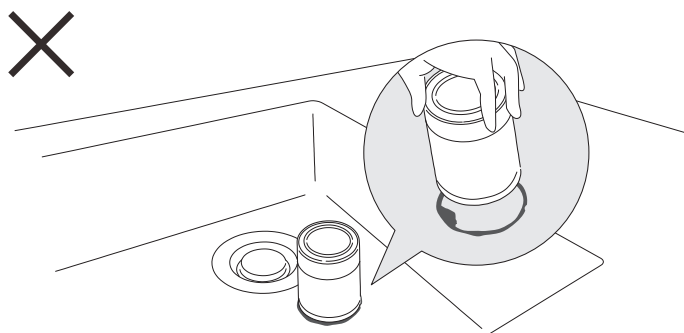
シンクの上に氷を置くと、結露して下の引き出しに水が溜まります。カビや雑菌の元になり不衛生ですので、必ず引き出し内部をお拭き取りください。



結露によって水が溜まります

シンクに金属製品を放置しないでください

シンク表面にさびが付着してしまいますので、金属製品をシンクに放置しないでください。



シンクへさびがつきます

漂白剤を使った後は、水でよく洗い流してください

漂白剤が残ったままだとシンクが腐食してしまいます。使用後は水でよく洗い流してください。

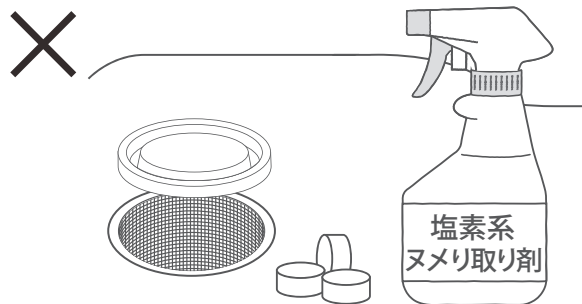


毎日のお手入れ・使い方

シンク

排水口に塩素系ヌメリ取り剤を使用しないでください

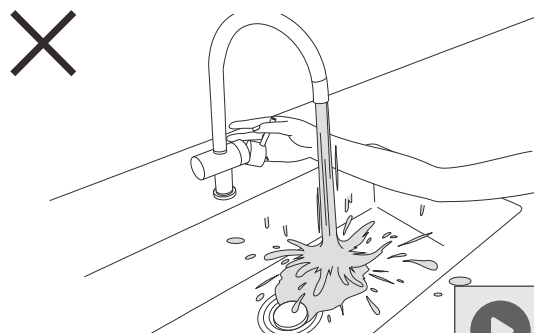
水や湿気に反応して発生する塩素ガスにより、ステンレス等の金属が腐食したり、ゴムが劣化します。



水栓

止水レバーをいきなり全開にしないでください

給水圧が強いと水跳ねすることがあります。段階的に流量を大きくして調節してください。それでも水跳ねが気になる場合には止水栓を調節して流量を抑えてください。



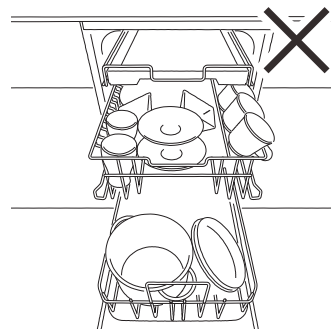
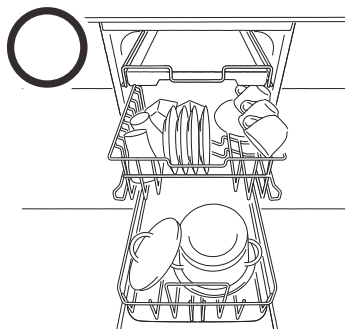
 動画リンク
止水栓の
調整方法

毎日のお手入れ・使い方

食器洗い機

食器セットは下向き、内向き、スキマをあけてください

きれいに洗浄するために、食器の汚れている面を下向きかつ内向きにセットし、スキマをあけて置いてください。

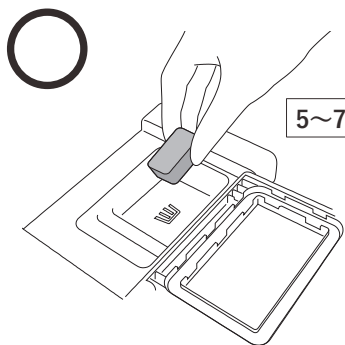


上向き、外向きに
セットしないでください

専用洗剤は適量で

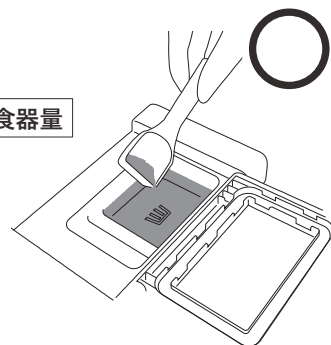
食器洗い機専用洗剤が少量の場合、洗い残しや庫内の臭い発生を引き起こします。1粒か付属スプーンを使用して1杯を投入してください。

※洗剤量は各洗剤によって異なります。7人分を超える場合は各洗剤の使用量に従ってください。



5~7人分の食器量

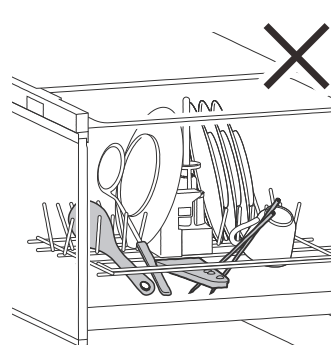
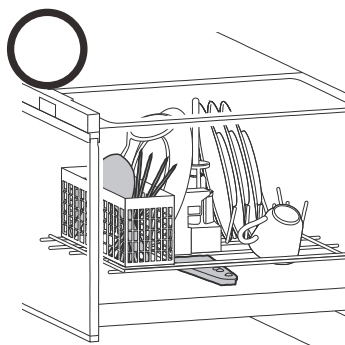
固形タイプは1粒



粉タイプは1杯

小物は、はみ出さないようにカゴに入れてください

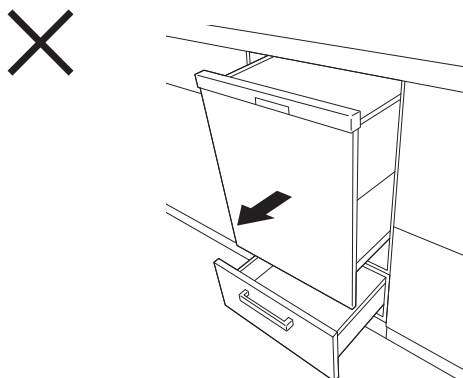
洗浄水が食器全体に当たらなくなるので、小物の先や食器などが、カゴからはみ出してノズルに当たらないようにセットしてください。



ノズルに当たらないように

引出しを開けたまま食器洗い機のドアを開けないでください

下の引出しを開けたままの状態では食器洗い機を開けるとぶつかってキズがつきます。引出しを閉じてから食器洗い機を開けてください。

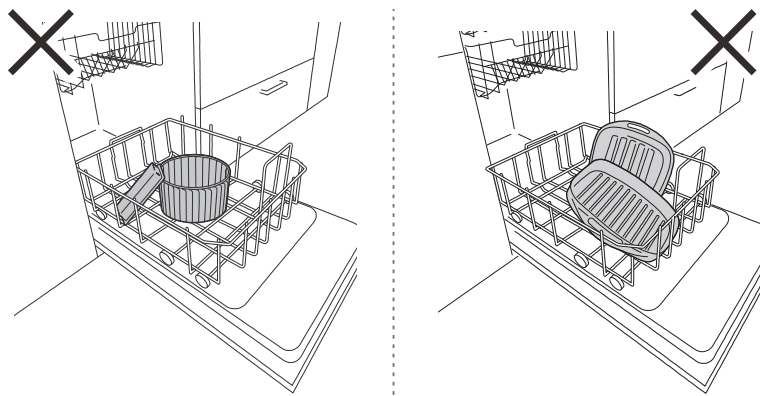


毎日のお手入れ・使い方

食器洗い機

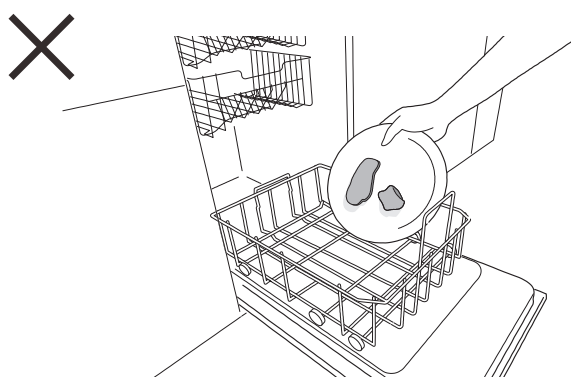
グリルプレートや
レンジフードの部品を
食器洗い機に入れないでください

テフロン加工が剥がれてしまう
可能性があるため、クックトップ
のグリルプレートやレンジフード
の部品は洗わないでください。



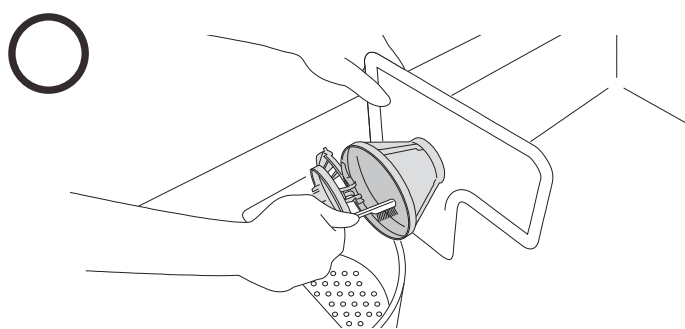
大きな残菜を残したまま
食器洗い機には入れないでください

残菜フィルターに入らない可能性
があるので、大きな残菜を取り除
いてから食器を入れてください。



残菜フィルターは常にキレイに

にしておく原因になるので、残菜フ
ィルターの清掃を毎回行ってくださ
い。

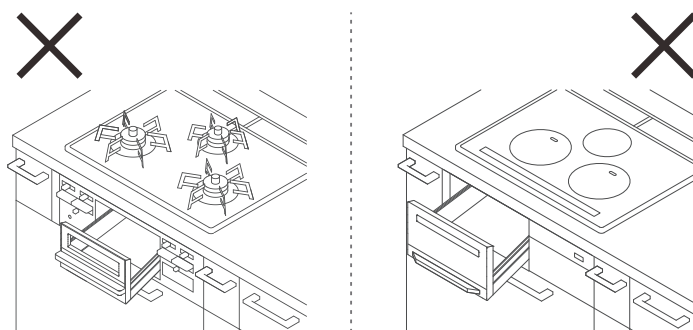


残菜フィルターは毎回清掃してください

調理機器

グリル扉を開けたまま
グリルを使用しないでください

調理機器のグリルを使用の際、調
理中の開閉やご使用直後の長時間
の開放は機器の熱によりワーク
トップが変形、破損しますので、
絶対におやめください。

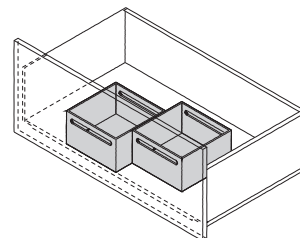
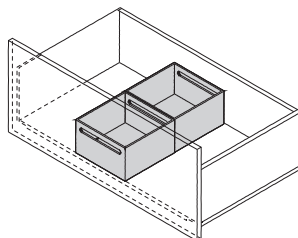


毎日のお手入れ・使い方

エバルトアクセサリー

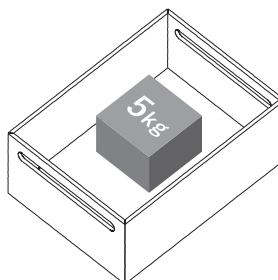
引出しの奥行方向に
隙間なく入れてください

隙間があると、引出しの開閉時にエバルトアクセサリー本体が動いてしまい、衝撃で壊れる可能性があります。



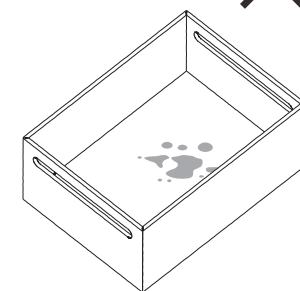
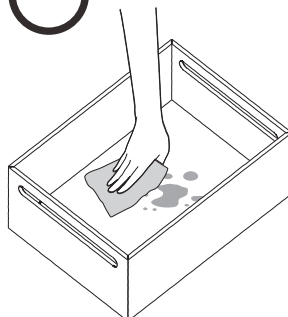
耐荷重を超えないように
収納してください

耐荷重を超えて収納すると壊れる可能性があります。右記イラストの重量を超えないように収納してください。



汚れを放置しないでください

汚れを放置すると、汚れが沈着してシミの原因となります。柔らかな布で汚れをふき取って、清潔な状態を保ってください。



落ちにくい汚れは
必ず台所用中性洗剤で

クレンザー・漂白剤・メラミンスポンジはエバルトアクセサリーを傷めます。薄めた台所用中性洗剤でお手入れの後、洗剤が残らないようにしっかりとふき取ってください。

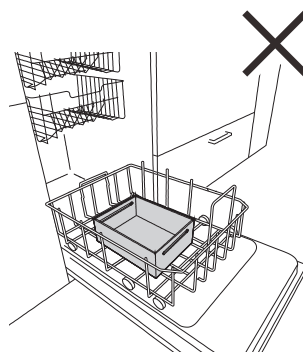
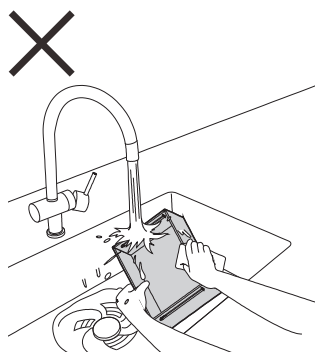


毎日のお手入れ・使い方

エバルトアクセサリ

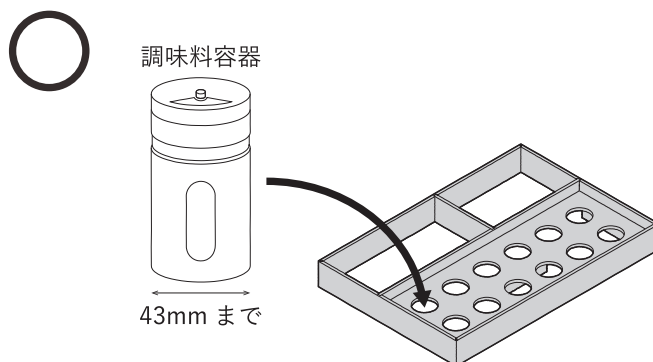
水洗いをしないでください

水洗いをすると劣化、破損の原因となります。食器洗い機での水洗いもしないでください。



調味料容器のサイズをご確認ください

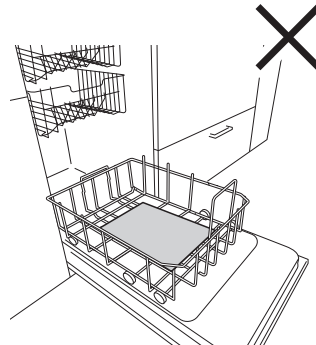
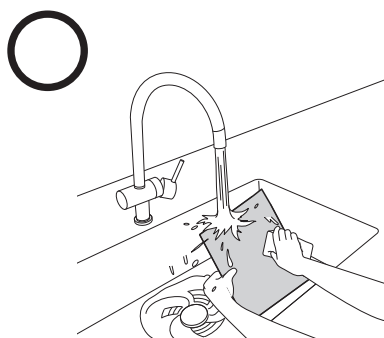
スパイス収納に納める容器のサイズをご確認ください。直径が43mmの容器まで収納可能です。



ノンスリップマット

食器洗い機に入れないでください

熱により、変形・劣化の原因となります。水またはぬるま湯（45℃以下）で手洗いまたは水拭きしてください。



お手入れは必ず台所用中性洗剤で

クレンザー・漂白剤は、ノンスリップマットを傷めます。薄めた台所用中性洗剤で手入れの後、洗剤が残らないよう十分に洗い流してしっかりとふき取ってください。

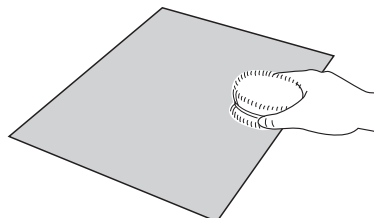


毎日のお手入れ・使い方

ノンスリップマット

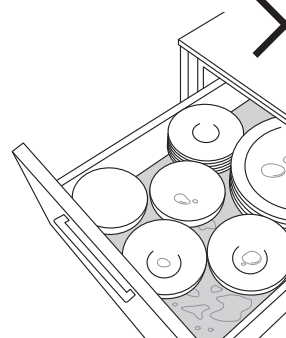
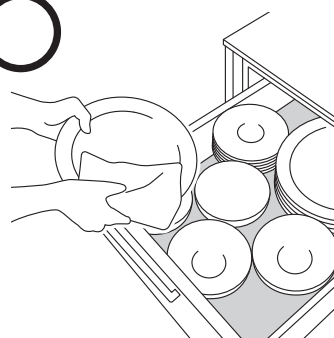
硬いもので擦らないでください

タワシなどで擦ると、表面を傷めることがあります。お手入れの際は、柔らかい布を使用してください。



濡れたままにしないでください

濡れたまま長時間放置すると、劣化の原因となります。濡れたときは、柔らかい布で水気をふき取って、乾いた清潔な状態を保ってください。

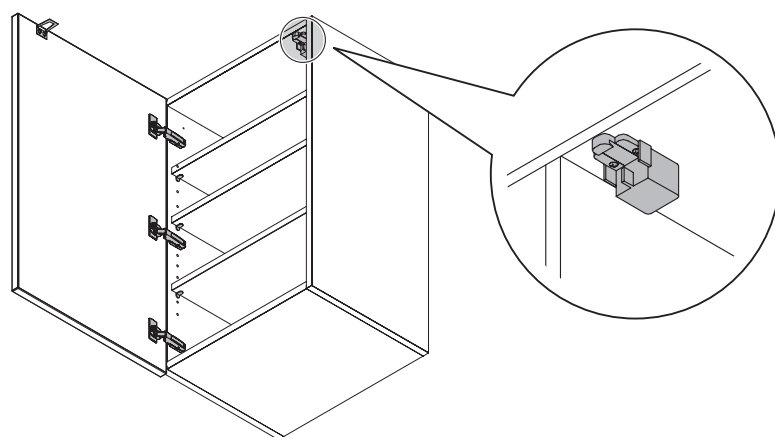
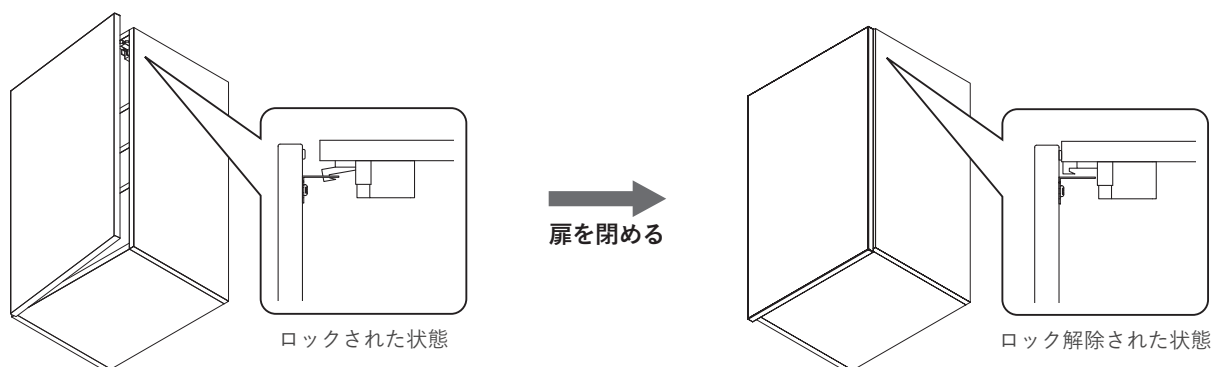


食器などを濡れたまま
収納しないでください

その他のメンテナンス

感震ドアロック解除方法

大きな地震が発生すると、2cm程開いた状態で扉がロックされます。
地震がおさまりましたら完全に閉めてください。
ロックが解除され、通常の状態に戻ります。



●感震ドアロックとは

地震の際、扉を自動でロックする機構です。
収納物が飛び出さないようにすることで、怪我や逃げ遅れの危険を減らします。

感震ドアロックは震度4に満たない地震には作動しない場合があります。
また、設置場所によって性能を十分に発揮しない場合があります。

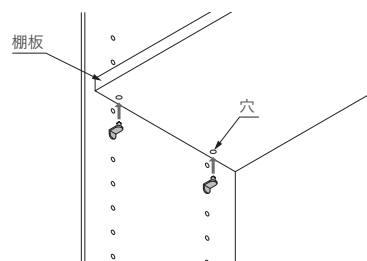
※感震ドアロックが作動せず、飛び出した収納物が破損しても補償の対象にはなりません。

その他のメンテナンス

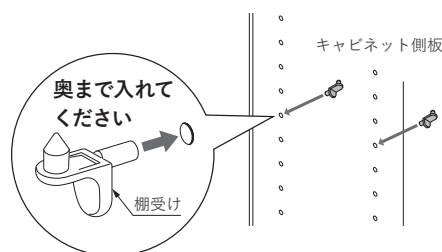
木製棚板の移動方法

棚板は、好きな位置にセットすることができます。

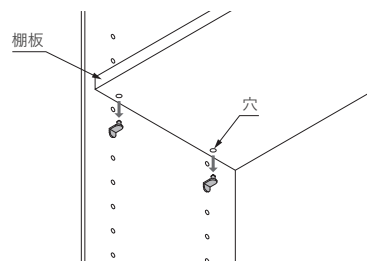
- 1 棚板を上方に持ち上げ、外してください。



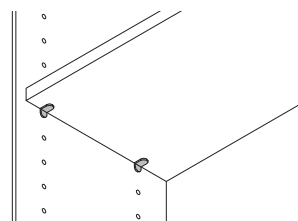
- 2 移動したい高さを決めて、キャビネットの側板のダボ穴に棚受けをしっかりと差し込んでください。



- 3 上方から棚板の穴に棚受けを差し込み、セットしてください。



- 4 棚板が確実に固定されていることを確認してください。



プッシュラッチの調整方法

プッシュラッチの先端を左右に回すことで、扉の前後位置を奥へ1mm、手前に4mm調整することができます。

※ 先端を時計回りに回すと扉は奥へ移動します。

